

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	吉野ヶ里町立三田川小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究の議論の場を通して、教職員の授業改善への意識が高まっている。また、コロナ禍でリモート授業などタブレットを活用した取組が進んだ。今後もICT活用を図りながら、学力向上を目指す。</li> <li>毎月の生活アンケートに加え、今年度から教育相談週間での面談を行った。いじめの未然防止・早期発見につながり、児童が安心しての学校生活を送ることにつながった。また、校内放送で、高学年児童が全校児童によりよい生活の仕方を呼びかける機会が増え、自治的風土が高まっている。</li> <li>職員の時間外勤務時間については、少しずつ減少傾向にある。教職員の「業務効率化の推進」「時間外勤務時間の削減」に対する意識の高まりがみられる。</li> </ul>
2 学校教育目標	ふるさと三田川を愛し、新時代を強く生き抜く児童の育成

3 本年度の重点目標	<table border="0"> <tr> <td style="width: 33%;"> <b>「かしこく」のために</b>                      ① 校内研究（英語教育）の充実及びICT利活用の推進                      ② 基礎基本の定着と集中力向上のためのスキルタイムの実施                      ③ 「授業づくりのステップ1・2・3」に沿った授業の展開                      ④ 家庭学習の習慣化と読書活動の推進                 </td> <td style="width: 33%;"> <b>「心ゆたかに」のために</b>                      ① 道徳や人権教育を通しての心の教育の推進                      ② 縦割り班による清掃活動と履きもの揃えの徹底                      ③ 園児・音楽教育の活性化による情操教育の推進                      ④ 芝生や花壇等の充実と、校舎内外の環境整備                 </td> <td style="width: 33%;"> <b>「たくましく」のために</b>                      ① 一人一人の価値を尊重し、居場所のある支持的風土の醸成                      ② 体育の授業の充実と、かけ足、自力登校の推進による体力の向上                      ③ 子ども主体の活動を通しての成就感・達成感・有用感の醸成                      ④ 保護者、地域と連携したあいさつ運動の推進                 </td> </tr> </table>	<b>「かしこく」のために</b> ① 校内研究（英語教育）の充実及びICT利活用の推進 ② 基礎基本の定着と集中力向上のためのスキルタイムの実施 ③ 「授業づくりのステップ1・2・3」に沿った授業の展開 ④ 家庭学習の習慣化と読書活動の推進	<b>「心ゆたかに」のために</b> ① 道徳や人権教育を通しての心の教育の推進 ② 縦割り班による清掃活動と履きもの揃えの徹底 ③ 園児・音楽教育の活性化による情操教育の推進 ④ 芝生や花壇等の充実と、校舎内外の環境整備	<b>「たくましく」のために</b> ① 一人一人の価値を尊重し、居場所のある支持的風土の醸成 ② 体育の授業の充実と、かけ足、自力登校の推進による体力の向上 ③ 子ども主体の活動を通しての成就感・達成感・有用感の醸成 ④ 保護者、地域と連携したあいさつ運動の推進
<b>「かしこく」のために</b> ① 校内研究（英語教育）の充実及びICT利活用の推進 ② 基礎基本の定着と集中力向上のためのスキルタイムの実施 ③ 「授業づくりのステップ1・2・3」に沿った授業の展開 ④ 家庭学習の習慣化と読書活動の推進	<b>「心ゆたかに」のために</b> ① 道徳や人権教育を通しての心の教育の推進 ② 縦割り班による清掃活動と履きもの揃えの徹底 ③ 園児・音楽教育の活性化による情操教育の推進 ④ 芝生や花壇等の充実と、校舎内外の環境整備	<b>「たくましく」のために</b> ① 一人一人の価値を尊重し、居場所のある支持的風土の醸成 ② 体育の授業の充実と、かけ足、自力登校の推進による体力の向上 ③ 子ども主体の活動を通しての成就感・達成感・有用感の醸成 ④ 保護者、地域と連携したあいさつ運動の推進		

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		5 最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・年間2回の学力向上対策研修を実施し、本校の課題と取り組む課題について共有する。							
	○自分の考えを相手に伝える力の指導方法の工夫	○自分の考えを分かりやすく相手に伝えることに関する肯定的な回答80%以上。	・字数やキーワード等の条件を付した作文活動を取り入れる。 ・スキルタイムの時間を使って、長文読解等の児童の実態に合った問題に取り組ませる。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○家庭や地域との連携を生かした道徳教育を進める。 ○授業内容を生活に振り返って考えることができる。 ○アンケートで、心の教育の充実について80パーセント以上が肯定的な意見。	・授業参観で「ふれあい道徳」として授業を公開する。 ・縦割り活動を通して異学年交流を図る。 ・教材にあったことを自分の生活におきかえて考えるように、ふりかえりの時間に言葉掛けをする。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○月に1回いじめ問題を把握するアンケートを行う。 ○生徒指導部および生徒指導全体会を毎月行う。 ○「おしえてね」アンケートで、学校生活が楽しいと答える児童が90パーセント以上。	・生徒指導部および生徒指導全体会で各学年の実態を報告し、複数の目で児童理解に努め、いじめの防止・対応にあたる。 ・毎月、「おしえてね」アンケートを実施し、いじめの実態を早期に把握して対応する。							
●健康・体づくり	○美しい心の育成	○あいさつや掃除を一生懸命頑張ることができた児童の数を80%以上にする。 ○履き物をそろえることができた児童の	・あいさつ運動や清掃指導を生活委員会で行う。 ・履き物そろえ調べを実施し、校内放送を通して意識化・意欲化を図る。							
	④「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える児童を90%以上にする。 ○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・早寝、早起き、朝ごはんを推進するために、保護者及び児童への啓発を行う。 ・交通安全教室で正しい自転車の乗り方を指導し、長期休業前に児童へ再度指導する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○体力の向上	○かけ足にめあてをもって取り組む児童90%以上にする。	・学期初めに全校児童に「かけ足にめあて」を確認したり、職員で共通理解して取り組んだりする。							
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・早目に月行事、週案を検討して、職員に提示し、業務の見直しをもたせる。 ・金曜日の定時退勤が実施できるようにする。 ・業務記録を毎日確認して、業務改善の意識を高める。							
○働きやすい職場づくり	○校務分掌間の連携や情報共有を図り、効率的な業務の推進を図る。	○校務分掌間の連携や情報共有を図り、効率的な業務の推進を図る。	・行事の目的や内容について話し合い、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、連携して取り組めるようにする。 ・効果的な業務遂行について、先輩教員が教員にアドバイスをする。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
◎地域愛を高める教育	○学校行事および郷土学習の推進	○「自分のよさを知っている児童」「夢や目標に向かって努力することは大切だと思う児童」をそれぞれ80%にする。 ○三田川のこゝ、もの、ひとを知り、郷土理解を深める。	・学校行事や授業を通じ、他者との関わりの中で学びながら、自分のよさに気付く児童を育てる。夢や目標に向かって努力する気持ちを育てるため、教科横断的な取組を行う。 ・総合的な学習の時間を核に、地域とつながる学習活動を増やし、郷土理解を深める。							
○開かれた学校づくり	○学校開放と地域連携の推進	○学校の教育方針や学校の取組状況につて連絡し、保護者の周知を90%以上にする。 ○学校評議員、民生委員、特別支援ボランティアの連携を推進する。	・学校便りの発行やHPの更新、はなまる連絡帳の月行事予定・下校時刻の更新を行う。 ・月1回特別支援ボランティアとの情報交換会を行い、情報を共有する。							
○教職員の資質向上	○校内研究(外国語科・外国語活動を中心とした)の推進 ○OJTの推進	○校内研究を通して、「授業力が向上した。」と回答する職員を80%以上にする。	・研究授業や授業研究会等を通して、教員の授業力を上げる。 ・若手教員の学習指導上、生徒指導上の諸課題についてベテラン教員からアドバイスする場を設定する。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---